

六ヶ所村の魅力を

発掘・発見・発信！

みつけた！



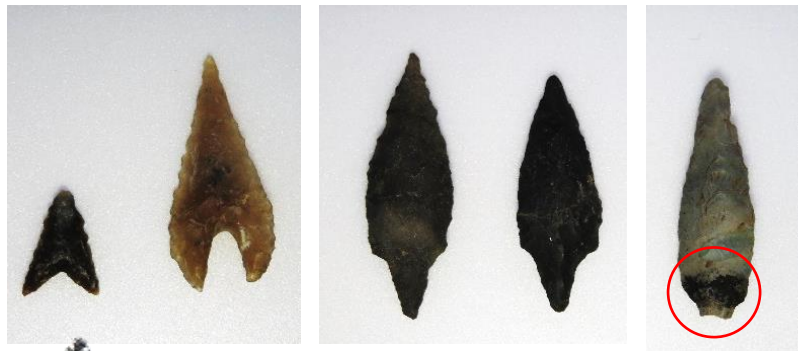
黒曜石でバレンタイン！

2月14日はバレンタインデーです。多くのお店や企業で様々な商品開発が行われている中、郷土館は黒曜石でハート形矢じりを作ってみました！ハートの形に見える矢じりが富ノ沢(2)遺跡で出土しています。この形は矢の先端につける柄の部分がないもので”無茎石鏃”^{むけいせきぞく}と言われます。これは宮城県など東北南部から発する石器づくりの技術です。それに対して、柄のあるものを”有茎石鏃”^{けいせきぞく}といい、青森県など東北北部で発する技術です。

石器づくりには、主に鹿の角が使われたと考えられています。黒曜石の厚さによって削りにくくて難しいですが、出来たときは達成感がわきます。郷土館では、昨年8月に、黒曜石で矢じりづくり体験を実施しました。今年も開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください。



職員作のハート形の矢じりをクローバーの様に並べた

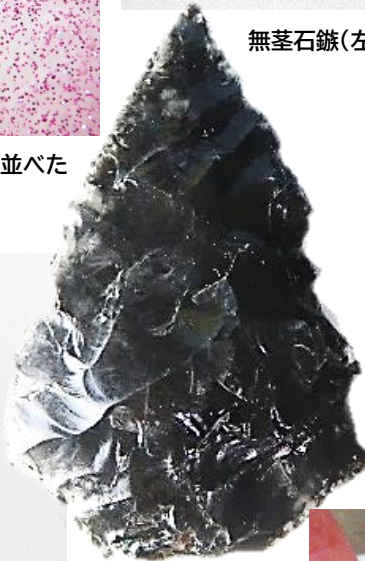


無茎石鏃(左)・有茎石鏃(中)・アスファルト付石鏃(右)
富ノ沢(2)遺跡 出土

石鏃は主に割ると鋭利な珪質頁岩や黒曜石がもちいられます。村内出土の黒曜石は北海道とつながる市出来島産と考えられています。石鏃をよく見ると、矢の接着のためにアスファルトがついているものもあります。



向きを変えればハートのように見える



黒曜石製の石鏃
富ノ沢(2)遺跡出土



鹿角をもちいた矢じりづくり